



陶 德 民 教授近影

陶徳民 教授略歴

- 1951年 中国上海市に生まれる
- 1990年 大阪大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程修了
(翌年3月大阪大学より文学博士号を授与される)
- 1990年 プリンストン大学東アジア学部訪問研究員
- 1991年 ハーバード大学 E. O. ライシャワー日本研究所 PD
- 1992年 マサチューセッツ州立ブリッジウォーター大学歴史学部助教授 (1997年5月まで)
- 1994年 立教大学法学部奨励研究員 (6月 - 8月)
- 1996年 東京大学教養学部客員研究員 (1月 - 3月)
- 1996年 関西大学文学部助教授
- 1997年 京都大学人文科学研究所非常勤講師 (翌年3月まで)
- 1999年 関西大学文学部教授
- 2001年 関西大学在外研究員としてエアランゲン大学、プリンストン大学、ハーバード大学およびシンガポール国立大学にて研究活動に従事
財団法人孫中山記念会評議員 (2012年6月まで)
- 2004年 渋沢栄一記念財団渋沢フェロー (2007年3月まで)
- 2006年 関西大学交換発遣研究者として復旦大学にて研究活動に従事 (9月より翌年2月まで)
- 2007年 関西大学文化交渉学教育研究拠点 (文部科学省グローバル COE プログラム) 拠点リーダー
(2012年3月まで)
- 2009年 東アジア文化交渉学会初代会長 (翌年5月まで)、評議員 (現在に至る)
(2019年まで会誌 *Journal of Cultural Interaction in East Asia* 編集長)
中国社会文化学会評議員 (2021年12月まで)
- 2012年 関西大学在外研究員として北京外国語大学、北京大学にて研究活動に従事 (9月より翌年3月まで)
- 2017年 関西大学より博士 (文化交渉学) 号を授与される (9月)
- 2019年 関西大学名誉教授 関西大学特別契約教授
- 2022年 関西大学を定年退職

陶徳民 教授 研究業績一覧

【専著】

- 2021.3 *Abraham Lincoln, Samuel Williams and East Asia: A Multilingual Study* (関西大学東西学術研究所研究叢刊64)、関西大学出版部 総287頁
- 2021.3 『もう一つの内藤湖南像—関西大学内藤文庫探索二十年』、関西大学出版部 総412頁
- 2020.3 『松陰とペリー：下田密航をめぐる多言語的考察』(関西大学東西学術研究所研究叢刊63)、関西大学出版部 総160頁
- 2019.3 『西教東漸と中日事情—拝礼・尊厳・信念をめぐる文化交渉』(関西大学東西学術研究所研究叢刊57)、関西大学出版部 総258頁
- 2017.3 『日本における近代中国学の始まり—漢学の革新と同時代文化交渉』、関西大学出版部 総412頁
- 2007.3 『明治の漢学者と中国—安繹・天囚・湖南の外交論策』、関西大学出版部 総302頁
- 1999.3 『日本漢学思想史論考—徂徠・仲基および近代』(関西大学東西学術研究所研究叢刊11)、関西大学出版部 総240頁
- 1994.3 『懷徳堂朱子学の研究』、大阪大学出版会 総402頁

【編著】

- 2022.3 『内藤湖南の人脈と影響—関西大学内藤文庫所蔵還暦祝賀及び葬祭関連資料に見る』(関西大学東西学術研究所資料集刊50)、関西大学出版部 総215頁
- 2018.3 『平山省斎と岩瀬忠震—開国初期の海外事情探索者たち(Ⅱ)』(関西大学東西学術研究所資料叢刊39-2)、関西大学出版部 総394頁
- 2017.10 『内藤文庫藏鈔本章氏遺書』、台湾大学人文社会高等研究院東亜儒学研究中心 全4巻
- 2016.3 『吉田松陰と佐久間象山—開国初期の海外事情探索者たち(Ⅰ)』(関西大学東西学術研究所資料叢刊39-1)、関西大学出版部 総276頁
- 2015.3 『重野安繹における外交・漢文と国史—大阪大学懷徳堂文庫西村天囚旧蔵写本三種』(関西大学東西学術研究所資料叢刊37)、関西大学出版部 総234頁
- 2013.3 『大正癸丑蘭亭会への懷古と継承—関西大学図書館内藤文庫所蔵品を中心に』(関西大学東西学術研究所資料叢刊33)、関西大学出版部 総284頁
- 2009.3 『内藤湖南と清人書画—関西大学図書館内藤文庫所蔵品集』(関西大学東西学術研究所資料叢刊26)、関西大学出版部 総200頁

【共編著】(各書の最後に共同編著者の氏名を記し、※は第一編者を示している)

- 2021.9. *The Tokugawa World*. London & New York: Routledge 総1198頁(※ Gary P. Leupp 氏)
- 2016.9 『内藤湖南漢詩酬唱墨迹輯釋：日本關西大學圖書館内藤文庫藏品集』、北京・國家圖書館出版社 総292頁(※ 錢婉約氏)

- 2015.12 *Trans-Pacific Relations in the Late 19th and Early 20th Centuries: Culture, Commerce, and Religion*. Society for Cultural Interaction in East Asia. 総 333 頁 (※ Martin Collcutt 氏 ; Jenine Heaton 氏)
- 2015.3 『泊園書院と大正蘭亭会百周年』、関西大学出版部 総380頁 (※藪田貫氏)
- 2013-2016 『衛三畏文集』、鄭州・大象出版社 全6セット (※張西平氏、呉志良氏; そのうち、2巻本の『衛三畏在東亜—美国日本所蔵資料選編』は陶による単独編集)
- 2012.3 *Cultural Interaction Studies in East Asia: New Methods and Perspectives*. Institute for Cultural Interaction Studies; ドイツ V & R unipress 総277頁 (藤田高夫氏)
- 2012.3 『世博会与東亜の参与』、上海人民出版社 総299頁 (朱蔭貴氏・木村昌人氏・馬学新氏)
- 2012.3 『朱子学と近世・近代の東アジア』、台湾大学出版センター 総563頁 (※井上克人氏、黄俊傑氏)
- 2010.7 『近代日中関係史人名辞典』、東京堂出版 総619頁 (※中村義氏、藤井昇三氏、久保田文次氏、町泉寿郎氏、川邊雄大氏)
- 2009.10 『東アジアの過去、現在と未来』、関西大学文学研究科; 丸善出版 総448頁 (二階堂善弘氏)
- 2009.7 『東亜の王権与政治思想』復旦大学出版社 総235頁 (※徐洪興氏、小島毅氏、呉震氏)
- 2009.3 『東アジアにおける公益思想の変容 近世から近代へ』日本経済評論社 総296頁 (姜克實氏、見城悌治氏、桐原健真氏)
- 2009.3 『近代東アジアの経済倫理とその実践 渋沢栄一と張謇を中心に』同上 総278頁 (姜克實氏、見城悌治氏、桐原健真氏)
- 2008.2 『近代日中人物史研究の新しい地平』雄山閣出版 総405頁 (藤田高夫氏)

【共譯】

- 2016.1 『内藤湖南：政治と漢学』(J. A. Fogel原著 *Politics and Sinology: The Case of Naito Konan* の中国語訳、何薦英氏と共訳)、南京・江蘇人民出版社 総363頁

【図録】

- 『大正癸丑蘭亭会百周年記念—近代日本における翰墨の盛典—』 関西大学大正癸丑蘭亭会百周年記念行事実行委員会 (陶徳民、杉村邦彦、中谷伸生、大橋成行) 関西大学アジア文化研究センター 2013年4月1日
- 関西大学創立130周年記念・泊園記念会企画展『関西大学図書館における日中文化交渉研究の資源—泊園文庫・内藤文庫・増田文庫を中心に』 陶徳民、辜承堯編集 関西大学泊園記念会 2016年10月20日
- 『山本竟山の書と学問—湖南・雨山・鉄斎・南岳との文人交流ネットワーク—』 同展示会実行委員会 (陶徳民、奥村佳代子、香取潤哉、呉孟晋、中谷伸生、大橋成行) 関西大学博物館、2018年4月1日

【序言・辞書項目】

“Foreword” *Diaries and Travel Journals of Ernest Satow (1861-1926), Volume I (1861-1872): China and Japan*. Transcribed and Annotated by Shinichi Miyazawa. Singapore: Cengage Learning Asia Pte Ltd, September 2014

“Niida Noboru” “Maruyama Masao” “Otsuka Hisao” “Shigeno Yasutsugu” “Shiratori Kurakichi” In Kelly Boyd 編 *Encyclopedia of Historians and Historical Writings*. London: Fitzroy Dearborn Publishers, 1999

重野安繹 宮島誠一郎 山本憲 斎藤実 西村天囚 内藤湖南 小川琢治 富岡謙蔵 今西龍 稲葉岩吉 鈴木虎雄 羽田亨 武内義雄 濱田耕作 岡崎文夫 石浜純太郎 梅原末治 宮崎市定 吉川幸次郎 藤枝晃 『近代日中関係史人名辞典』（中村義・藤井昇三・久保田文次・陶徳民・町泉寿郎・川邊雄大共編、東京堂出版、2010年）所収

【研究論文】

「富永仲基の音楽観—『楽律考』の研究—」『東方学』第77輯 1989年1月 88-100頁

“Nishimura Tenshu’s Journey to the Yangtze Basin in 1897-98” *Sino-Japanese Studies* (University of California, Santa Barbara) 4:1 1991年10月 28-43頁

「西村天囚と張之洞の『勸学篇』」『懷徳』第60号 1991年12月 83-98頁

“Traditional Chinese Social Ethics in Japan, 1721-1943” *The Gest Library Journal* (Princeton University) 4:2 1991年 68-84頁

「重野安繹と近代大阪の漢学」『懷徳』第63号 1995年1月 71-86頁

「明清『聖諭』対日本の影響」北京大学日本研究センター『日本学』第5輯 1995年6月 133-140頁

「重野安繹の中国観—明治二二年の支那視察案をめぐって—」『立教法学』第42号 1995年8月 186-213頁

「含翠堂の神道観と古義学—足代弘道と土橋宗信を中心に—」『懷徳』第65号 1996年12月 27-45頁

「西村天囚と劉坤一—清末の教育改革をめぐって—」関西大学『中国文学会紀要』第18号 1997年3月 1-39頁

「米国における現代中国文化の研究—1990年代前半期を中心に—」『現代中国における歴史的連続と不連続』研究班 News Letter No.5 1997年3月 43-46頁

「明治の漢学者と中国—薩州人重野安繹と西村時彦の場合—」『泊園』第36号 1997年9月、40-64頁

「『上西園寺公書』考—藤沢南岳の未刊書簡について—」関西大学『文学論集』第47巻第3号 1998年2月 17-39頁

「近世日本儒家的興学論」国際儒学联合会『国際儒学研究』第7輯 1999年6月 94-101頁

「明治日本におけるキリスト教と儒教の交渉—中村敬宇の西洋受容の論理と素地—」関西大学『文学論集』第51巻第1号 2001年7月 105-119頁

「「清板二弁」を祝う泊園の賀宴—幕末における徂徠学の動向—」単著 関西大学『東西学術研究所創立五十周年記念論文集』2001年10月 233-245頁

- 「張謇と内藤湖南及西村天囚—内藤文庫所蔵未刊書信考証（一）—」関西大学『中国文学会紀要』第25号 2004年3月 1-13頁
- 「十九世紀中葉美國對日人權外交的啟示—寫在美日建交150周年之際—」香港中文大學『二十一世紀』第82期 2004年4月。
- 「内藤湖南における『支那論』の成立—民国初期の熊希齡内閣との関連について—」『東方学』第108輯 2004年7月 84-104頁
- 「鄭孝胥與水野梅曉的交往及其思想初探—以霞山文庫所藏《使日雜詩》卷軸為線索—」関西大学『中国文学会紀要』第26号 2005年3月 35-54頁
- 「從衛三畏档案看—一八五八年中美之間的基督教弛禁交涉—」『或問』第九号 2005年5月 57-65頁
- 「国粹主義と中華崇拜を超えて—五井蘭洲『百王一姓論』の再評価—」『東アジア文化交渉研究』創刊号 関西大学文化交渉学教育研究拠点 2008年3月 61-77頁
- “YOSHIDA SHŌIN'S ENCOUNTER WITH COMMODORE PERRY: A REVIEW OF CULTURAL INTERACTION IN THE DAYS OF JAPAN'S OPENING”『東アジア文化交渉研究』別冊1 関西大学文化交渉学教育研究拠点 2008年3月 63-79頁
- 「『時流に乗らない』という泊園精神—幕末・明治における徂徠学者の動向—」『東アジア文化交渉研究』別冊2 関西大学文化交渉学教育研究拠点 2008年6月 121-135頁
- 「近世近代の日本儒学及其特征」『中国儒学』第三輯 2008年9月 341-363頁
- 「内藤湖南と東方文化聯盟—昭和初期におけるアジア主義の一形態—」『東アジア文化交渉研究』別冊3 2008年12月 3-18頁
- 「ペリーの旗艦に登った松陰の「時間」に迫る」『東アジア文化交渉研究』第2号 2009年3月 403-411頁
- 「なぜ戦勝国が敗戦国を助けようとしたのか—西村天囚（1865-1924）の事例を介した複眼的思考—」『アジア文化交流研究』第4号 2009年3月 81-93頁
- 「吉野作造の民本主義における儒教的言説—人間論と政治論を中心に—」『東アジア文化交渉研究』第3号 2010年3月31日 3-16頁
- 「懷徳堂と泊園—大阪における漢学の源流—」泊園記念会『泊園』第49号 2010年5月 95-117頁
- 「作为“人学”的东亚文化交渉学—基于史学立场的一个倡言—」『東アジア文化交渉研究』第5号 2012年2月 3-9頁
- 「『東亞文化交渉學』的關鍵詞探索—全球化時代文化研究的新視野與新視角—」『東アジア文化交渉研究』第1号 2012年3月 167-172頁
- 「内藤湖南とJ. S. トムソンの辛亥革命觀の比較—20世紀初期中国における日米競合の一側面—」、『孫文研究』第50号 2012年3月 20-30頁
- 「王羲之の僕役 熊希齡の顧問—1913年内藤湖南の自己定位から見たその対中国姿勢の特質—」河合文化教育研究所『研究論集』第9号 2014年3月 111-125頁
- 「内藤書簡研究の新しい展開可能性について—満洲建国後の石原莞爾・羅振玉との協働を例に—」（藤田高夫氏との共著）関西大学『東西学術研究所紀要』第47輯 2014年3月 39-56頁

- “Searching East Asia-related Archives in Springfield: A Journey to the Mecca of Lincoln Studies”
関西大学『東西学術研究所紀要』第49輯 2016年3月 567-581頁
- 「鯨油時代の砲艦外交と人道主義—下田密航をめぐる松陰の懇願とペリーのジレンマ—」、山口大学人文
学部『異文化研究』第10号 2016年3月 69-78頁
- 「三島中洲における漢洋折衷のバランス感覚—松陰・安繹・榮一との比較—」二松学舎大学『日本漢文
学研究』第11号 2016年3月 163-174頁
- 「近代東アジアの変貌を目撃した二人の西洋人—『衛三畏文集』と *Diaries and Travel Journals of Ernest
Satow* に寄せた序文 関西大学『中国文学会紀要』第37号、2016年3月 259-289頁
- 「『一等国』をめざす有識者グループの努力と限界—デューイから見た大正日本と帰一協会の人々—」、
見城悌治編著『帰一協会の挑戦と渋沢栄一—グローバル時代の「普遍」をめざして—』第九章、ミ
ネルヴァ書房 2018年2月
- 「明治国家成立期の水戸イデオロギーに関する考察—「大日本史完成者」栗田寛の勅語講釈を中心に—」、
小島毅編『中世日本の王権と禅・宋学』第十章、汲古書院 2018年2月
- 「「敗者」側の功績と精神を後世に伝える—明治維新150周年に際しての拙編と思索」、『或問』33号
- 「米側史料による松陰密航の研究と所感」（総会記念講演記録）、大阪大学待兼山史友会『史友会会報』第
33号 2019年2月
- 「明治末年に現れた神仏耶三教会同と帰一協会の意義—「第二の維新」を目指す有識者たちの努力とそ
の限界」『東アジア文化交渉研究』第12号 2019年3月
- 「リンカーン伝記作家としての内ヶ崎作三郎——忘れられた文化史家の比較史論と国際感覚について」、
『東西学術研究所紀要』第52輯 2019年4月
- 「富永仲基顕彰に関する石濱純太郎の功績—『楽律考』発見の意義に触れて」、吾妻重二編著『東西学術
研究と文化交渉—石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム論文集』（関西大学東西学術研究所研
究叢刊59）所収 2019年11月
- 「湖南研究の新機軸を打ち出すための模索：内藤文庫をめぐる共同研究プロジェクトについて」、内藤湖
南先生顕彰会『湖南』第41号、1-8頁、2021年3月。
- 「「康德帝」溥儀の即位儀礼と内藤湖南の見解：国立国会図書館所蔵の斎藤実首相宛書簡について」、『関
西大学東西学術研究所紀要』第54輯、2021年4月1日 311-321頁。
- 「序文に代えて」（内田慶市教授 井上泰山教授退休記念号）、『関西大学中国文学会紀要』第42号、2021
年3月
- 「「教育博議詳細目次」編成の縁起—藤澤南岳の教育思想の位相解明を目指して」、吾妻重二編著『「南岳
百年祭」記念論文集』所収、関西大学東西学術研究所、2021年9月

〔翻訳〕

- 「保存在日本文化中的的中国文化的特徴」（大庭脩 “Chinese Cultural Features Preserved in Japanese
Culture）周涛氏との共訳 『中国伝統文化的再評価』上海人民出版社 1987年5月 461-466頁
- “Institutions of the Yuan Dynasty and Yuan Society”（植松正「『元典章』と元代社会」）共訳（2人）

王貞平、陶徳民 *The Gest Library Journal* (Princeton University) 5:1 1992年春期 担当57-69頁

〔関連記事〕

「アーネスト・サトウ『英国策論』物語」『維新の道』（霊山歴史館機関誌）第161号、2016年4月2面
「松陰と象山——開国初期の海外事情探索者たちへの追慕」『維新の道』第165号 2017年4月2面

〔研究発表・講演〕

「關於欧米、日本的近代化論研究」『歴史研究』編集部主催学術研究会「主要資本主義国家近代化的道路と特点」1983年9月20日 於中国・鄭州大学
「中国における日本史研究の現状」前近代史部会研究例会 1986年12月25日 於大阪歴史科学協議会
「懷徳堂の無鬼論と近世大坂社会—並河寒泉の『弁怪』を中心に—」科研費「近世後期倫理思想の研究」定例研究会 1987年3月27日 於大阪大学
「吉宗時代における儒者の音楽観」第32回国際東方学者会議 1987年5月2日 於東京・日本教育会館
「懷徳堂における無鬼論の確立—中井竹山を中心に—」懷徳堂記念国際シンポジウム「徳川思想」1987年9月30日 於大阪大学
“Tominaga Nakamoto’s Application of Sinological Knowledge in his Study of Buddhism” 第33回国際東方学者会議 1988年5月1日 於東京・日本教育会館
“Current Status of Research on Japanese History in the People’s Republic of China” 1988年9月－10月 於 University of California at Berkeley (9月12日), University of Chicago (15日), University of Illinois (22日), Cornell University (26日), Princeton University, (29日) Columbia University (10月4日), Harvard University (7日)
「『欽定憲法大綱』と日本」国際シンポジウム「東アジアにおける近代化の諸相—19世紀末期か20世紀にかけて—」1988年12月4日 於東京国際文化会館
「富永仲基（1715-1746）の漢学造詣について」1988年11月19日 於大阪・池田郷土史学会
“Neo-Confucianism in 18th-Century Osaka: Goi Ranshu and the Kaitokudo” 1991年5月 於 Princeton University Department of East Asian Studies (14日), University of Chicago Institute for East Asian Studies (17日).
“Same Text, Different Contexts: Japanese Uses of the *Sacred Edict*” 1992年2月14日 Reischauer Institute of Japanese Studies PD Presentation 於 Harvard University
“Confucianism and the Emperor: Some Reflections on the Rokkō Series” Round Table on “A Sinocentric View of Japanese History? The New 13-Volume History of Japan Published by Rokko shuppan” at the 44th Annual Meeting of the Association for Asian Studies 1992年4月5日 於 Washington, D. C.
“Sorai’s New Look” Symposium on “Pre-Modern and Modern Japan” in Honor of Professor Marius Jansen’s Retirement 1992年5月15日 於 Princeton University

- “Some Reflections on Marius Jansen’s *China in the Tokugawa World*” Round Table on “China in Japanese Eyes: Marius Jansen’s History of an Ambivalent Relationship” at the 46th Annual Meeting of the Association for Asian Studies 1994年3月26日 於Boston
- “The Influence of Sorai in Meiji Japan: Shigeno Yasutsugu as an Advocate of Practical Sinology” Meiji Studies Conference sponsored by the Reischauer Institute of Japanese Studies 1994年5月7日 於Harvard University
- “Changing Japanese Relations with Asia: An Historical Perspective” Bridgewater Symposia 1994年11月21日 於Bridgewater State College
- “Japan’s War in China: Perspectives of Leading Japanese Sinologists” Symposium on the Sino-Japanese War of 1937-1945 held by the Society for the Study of Twentieth-Century China 1995年12月17日 於Vancouver, Canada
- 「内藤湖南と京都支那学について」第61回近世思想史研究会「子安宣邦『近代知のアルケオロジー』書評会」1996年7月20日 於立命館大学
- 「近世日本儒家的興学論」「儒家教育理念与人類文明国際研討会 暨岳麓書院創建1020周年記念会」1996年8月27日 於中国長沙・湖南大学
- 「明治の漢学者と中国—薩州人重野安繹と西村時彦の場合—」第36回泊園記念講座「中国研究あれこれ・その六」1996年11月19日 於大阪府立文化情報センター
- 「西村天囚の清末教育改革推進論の特質」京都大学人文科学研究所「日・中・朝間の相互認識と誤解の表象」研究班 1996年11月25日 於京都大学
- 「米国における現代中国文化の研究」重点領域研究『現代中国の構造変動』『現代中国における歴史的連続と不連続』研究班（大阪）1997年1月11日 於大阪・アジア図書館
- 藤沢南岳と日本弘道会大坂支会—会誌『教育博議』をめぐって— 東西学術研究所第3回研究例会 1997年6月18日 於関西大学
- 「明治漢学者のみた儒教の祖国」人文科学研究所夏期公開講座 1997年7月5日 於京都大学
- 「泊園徂徠学與明治時代的国家主義教育—藤沢南岳的思想—」中国文哲研究所「日本近現代儒学国際研討会」1997年9月6日 於台湾中央研究院
- 「清末中日関係中的政治和文化」第4回日中関係史国際シンポジウム 1997年11月15日 於東京大学
- “National Identity Crisis and Its Official Solution: A Preliminary Comparison of Meiji Japan and Late Qing China” 第三回アジア比較哲学国際研究会議 1998年1月8日 於ハワイ大学
- 「戊戌維新前夜日本参謀本部的張之洞工作—以西村天囚『江漢遡迴録』為線索—」「戊戌維新一百周年記念」国際学術研討会 1998年8月23日 於北京大学
- 「重野安繹の漢学論」「近代日本・中国文化の比較研究」共同研究会 1999年2月23日 於国文学研究資料館
- 「明治漢学界における桐城派の影響」国際研究セミナー「明治日本と中国」1999年5月1日 於カリフォルニア大学サンタバーバラ校
- 「日本漢学家的中国觀之變遷」中日関係研究会 1999年6月6日 於東京・亜細亜大学

- 「星野恒編・王韜評『明清八大家文』について」 国際シンポジウム「清代の中日文化交流」1999年8月2日 於中国杭州・浙江大学日本文化研究所
- 「富永仲基と朱子学—内藤湖南・石浜純太郎の研究をめぐって—」 東西学術研究所第6回研究例会 1999年11月17日 於関西大学
- “Changing Chinese Attitudes toward the Study of Japan” Evening Seminar 2000年2月10日 於京都国際日本文化研究センター
- 「近代日本の教育勅語与中国」 中国社会科学研究会特別講演会 2000年7月21日 於東京国際文化会館
- 「清板『二弁』を祝う泊園の賀宴—幕末における徂徠学の動向—」 近代東西言語文化接触研究会第三回研究例会 2000年7月23日 於関西大学
- 「幕末・明治日本の西洋受容と漢学」 漢陽大学国際文化大学・関西大学東西学術研究所共同セミナー「近代国家形態と日本の人文学の役割」2000年8月1日 於関西大学
- 「明治漢学者の多元主義文明観」 中日共同研究会議「近代日本哲学的東亜意義」2000年8月29日 於北京・中国社会科学院哲学研究所
- “Chinese as a Medium in Early US-Japan Interchanges: Lo Sen’s Journal of Perry’s 1854 Visit to Japan” 日米歴史家円卓会議「誤解と偏見の過去・現在、そして未来」2000年11月11日 於ハワイ大学
- 「近世日本朱子学的特色—以大阪懷徳堂為例—」「朱子学与東亜文明研討会—記念朱子逝世八百周年朱子学会議—」2000年11月17日 於台湾・漢学研究中心
- 「元田永孚の「君徳輔導」与論語解釈」「東亜儒学中的經典詮釋伝統」第二次研討会 2000年11月19日 於台湾大学
- “Japanese Sinologists’ Views of the Sino-Japanese War of 1937-1945 during the Wartime” (招待講演) Asian Studies Seminar 2001年5月4日 於University of Copenhagen
- “Moral Indoctrination in Early Modern and Modern Japan: The *Six Maxims* and the *Imperial Rescript on Education*” Sinology Seminar 2001年5月9日 於University of Erlangen-Nurnberg
- “The Chinese Translator Lo Sen and Commodore Perry’s Mission to Japan” (招待講演) East Asian Studies Seminar 2001年6月13日 於University of Gottingen
- “The ‘Confucian Motherland’ as Seen by Meiji Sinologists: Three Travelogues” Sinology Seminar 2001年6月18日 於University of Heidelberg
- “Chinese Canonical Scriptures in a Critical Japanese Perspective: Tominaga Nakamoto (1715-46) and Modern Kyoto Sinology” International Conference on the History of Chinese Hermeneutics 2001年10月6日 於Rutgers University.
- “The Japanese Responses to the May Fourth Literary Revolution: Yoshino Sakuzo, Aoki Masaru, and the Taisho Liberalism” Reischauer Institute of Japanese Studies “Japan Forum” 2001年10月26日 於Harvard University
- “The Japanese Responses to the May Fourth Literary Revolution: Yoshino Sakuzo, Aoki Masaru,

- and the Taisho Liberalism” East Asian Studies Lecture 2001年11月14日 於Princeton University
- 「日本漢学概観」 中文系講座 2002年2月22日 於シンガポール国立大学
- 「香港人羅森与十九世紀中葉の日美中關係」 日本学系公開講座 2002年3月4日 於香港中文大学
- 「日本知識階層对五四文学革命的反应—吉野作造・青木正児与大正時代的自由主義—」 人文学部講座 2002年3月7日 於香港科技大学
- 「日本知識階層对五四文学革命的反应—吉野作造・青木正児与大正時代的自由主義—」 歴史系学術講座 2002年3月19日 於復旦大学
- 「転折期日本研究の新視野」 日本研究センター座談会 2002年3月21日 於復旦大学
- 「吉野作造の政論における儒教的言説」「東アジアにおける公論形成の比較」研究会 2002年7月20日 於東京大学
- 「美日交渉中的中国媒介与十九世紀中葉の東亞世界秩序—培里・衛三畏・羅森三者日記的比較研究—」 近代史研究所学術講座 2002年8月29日 於台湾中央研究院
- 「日本知識階層对五四文学革命的反应—青木正児・西村天因和近代日中的文化連環—」 中央研究院中国文哲研究所座談会 2002年9月5日 於台湾中央研究院
- 「近代日本の論語学」人文学研究中心特別講座 2002年9月13日 於台湾大学
- 「大阪—幕末・明治の泊園書院—」 平成14年度関西大学おおさか文化セミナー「近畿を訪れて」2002年10月29日 於関西大学
- 「黒船のもたらした広東人旋風—ペリーの漢文通訳・羅森の虚像と実像—」 第二回神戸歴史フォーラム 2002年11月16日 於神戸大学
- 「『支那論』再考—大正初期における内藤湖南の中国観—」 中国社会科学研究会日中関係史講演会2003年1月17日 於東京国際文化会館
- 「明治大正期の日本における儒教—渋沢栄一『実践論語』を読む—」 第106回渋沢研究会 2003年1月18日 於東京・渋沢史料館
- 「黒船を取り巻く漢文の世界—松陰・羅森およびウィリアムズ—」 国際シンポジウム「漢字文化圏における近代語の成立と交流」2003年3月21日 於韓国ソウル・祥明大学校
- 「吉田松陰研究の新知見」2003年9月12日 於北京日本学研究中心
- “The Social Dimension of Western Studies of Chinese language: S. W. Williams and His Chinese Assistants in the Days of Japan’s Opening” 西洋漢語研究国際研討会 2003年9月15日 於北京外国語大学
- “Rediscovery of Yoshida Shoin” East Asian Studies Seminar 2003年9月25日 於Princeton University
- 「吉田松陰研究の現在」 日本思想史学会大会2003年年次大会・パネルセッション（担当「投夷書原本でみる松陰の西洋学習の姿勢」）2003年10月19日 於筑波大学
- 「新しい教養教育に関するエール大学のビジョン—2003年4月エール大学自己点検レポートから—」 関西大学重点領域研究成果発表会 2004年3月6日 於関西大学

- “Shibusawa Eiichi, Townsend Harris, and Confucius” The 5th International Shibusawa Seminar 2004
年6月19日 於青森県・奥入瀬
- 「关于耶鲁大学所藏吉田松阴「投夷书」的研究」北京中日文化交流史研究会 2004年8月4日 於北京大学
历史学部
- 「从海外史料看清末民初中日关系中的几个重要人物——张之洞、刘坤一、张謇与熊希龄——」2004年8月10
日 於中国社会科学院近代史研究所
- 「明治日本における儒教とキリスト教の交渉——井上哲次郎の中村敬宇批判について——」国際シンポジウ
ム「東アジア世界と儒教」2004年9月17日 於関西大学百周年記念会館
- 「従衛三畏档案看一八五八年中美之間的基督教弛禁交涉」国際シンポジウム 2005年3月13日 於上海・
同济大学
- 「史海拾貝——二十年来海外探索的一点体会——」特別講演会 2005年9月19日 於浙江工商大学日本文化
研究所
- 「王韜における儒教とキリスト教の相克——祖先祭祀および儒耶異同の問題をめぐって——」アジア文化交
流研究センター交流環境班第三回研究会 2005年10月28日 於関西大学
- 「近代東アジアにおける政治思想の形成と西洋」日本思想史学会2005年年度大会・パネルセッション（担
当「王韜の西洋観——文明、帝国主義とキリスト教——」）2005年10月30日 於東京大学
- 「「非人道的」な鎖国制度と闘ったアメリカ人宣教師——ペリーの首席通訳官S. W. ウィリアムズのこと
——」（招待講演）アジア文化研究所「アジア・フォーラム」2005年12月12日 於国際キリスト教大
学
- 「明治時代有關「国民道德」問題的論争及其解決辦法——《教育敕語》出台的前前後後——」2006年2月 於
武汉大学哲学学部
- 「大正期の日中関係と米問題——内藤湖南『支那論』を手掛かりに——」（基調報告）、於関西大学アジア
文化交流研究センター主催第二回国際シンポジウム「近代日中関係人物史研究の新しい地平」、2006
年6月24日
- “The Charitable Man from Afar: A Reappraisal of S. W. Williams’ (1812-1884) Involvements in the
Mid-19th Century East Asia” Conference on “Trans-Pacific Relations: The United States and
East Asia in the 19th and Early 20th Centuries” 2006年9月8日 於Princeton University
- 「国家利益 vs. 人権關懷——論1850年代美国对日外交——」2006年11月21日 於復旦大学美国研究中心
- 「近世近代の日本儒学及其特征——以大阪懷德堂与泊園書院為例——」（基調報告）中華孔子学会成立二十
周年學術研討会 2006年11月25日 於北京
- 「耶鲁大学所藏『衛三畏家族文书』探訪及研究」第57回「名師講座」2006年11月27日 於北京外国語大
学海外漢学研究中心
- 「明治時代有關「国民道德」問題的論争及其解決辦法——《教育敕語》出台的前前後後——」2006年11月29
日 於北京大学哲学系・中国文化書院
- 「近代日本漢学家的中国観——以西村天因与内藤湖南为例——」中国近代史研究所特別講演会 2006年11月
30日 於華中師範大学

- 「涩澤栄一、内藤湖南与日美关系」 涩澤栄一研究センター特別講演会 2006年12月1日 於華中師範大学
- 「内藤湖南与近代中国」 歴史学部学術講座 2006年12月7日 於復旦大学
- 「美日“中国通”所珍藏的近代華人墨跡—耶鲁大学『卫三畏家族文书』及関西大学内藤文庫探訪—」 「文化伝承与中外交流」新春サロン 2007年1月8日 於復旦大学文物与博物館学系
- 「文化交渉学」の構築に向けて—近著『明治の漢学者と中国』の執筆体験から— アジア文化交流研究センター交流環境班第15回研究例会 2007年6月8日 於関西大学
- 「試論桐城学派文論在明治漢学界的影響」「域外漢籍研究」 国際学術研討会 2007年8月14日 於南京大学
- 「十八世紀日本の学術と政治思想—以五井蘭洲的「百王一姓論」為線索—」 日中学術フォーラム「東アジアの王権と政治思想」2007年9月21日 於復旦大学哲学学院
- 「文化交渉学の可能性を考える—新しい東アジア文化像をめざして—」 関西大学グローバルCOEプログラム第1回国際シンポジウム 2007年10月4日 於関西大学
- 「内藤湖南における「支那」論の変遷—対中「後見人」意識の形成をめぐる—」 国際シンポジウム「清末中華民国初期の日中関係—協力と対立の時代」 2007年11月4日 於東京大学駒場校舎
- 「内藤湖南《支那論》中の美国因素」 国際学術研討会「從周辺看中国」 2007年12月18日 於復旦大学文史研究院
- “Japan-American Rivalry in Early Republican China: Naito Konan’s *Shina ron* (1914) and *Shin Shina ron* (1924)” Fairbank Center Special Seminar 2008年5月23日 於Harvard University
- 「内藤湖南の西洋文明観—東方文化聯盟発会式講演を中心に—」(基調報告) 関西大学文化交渉学教育研究拠点第2回研究集会「内藤湖南への新しいアプローチ」2008年6月28日 於関西大学
- “The Charitable Man from Afar: S. W. Williams’ (1812-1884) Involvements in East Asia,” International Seminar on “America and East Asia: Cultural Interchange since the Mid-19th Century” 2008年6月6日 於関西大学
- “Approaching the Paradoxical Neighbor: How China and Japan Engaged Each Other between the Two Sino-Japanese Wars (1895-1945)” Roundtable at the Twelfth Asian Studies Conference Japan 2008年6月21日 於上智大学
- “Petition, Marginal Comments, and Written Conversation: Rediscovering Modern Japan’s Foreign Relations through Original Documents” (招待講演) 人文学研究院HK文明研究事業団「第1回HK国内外著名学者招請講演会」2008年7月17日 於ソウル大学校
- 「清末における明治文化伝習に関する諸問題」 国際シンポジウム「東アジアの文化交流—人物往来—」 2008年7月28日 於浙江工商大学
- 「近代日本の中国観—漢学・支那学者の場合—」 渋沢栄一記念財団寄附講座「日中関係と東アジア」 2008年9月24日 於関西大学大学院文学研究科
- 「近代日本の中国観」 中国近代史研究所学術講座 2008年10月14日 於華中師範大学
- 「昭和初期的「近代超克論」—内藤湖南与東方文化聯盟—」 人文社会高等研究院セミナー 2008年10月

30日 於台湾大学

「近代日本の漢文直読論与中国研究方法論の転換—以重野安繹・青木正児・倉石武四郎為線索—」 歴史
語言研究所特別講演会 2008年10月31日 於台湾中央研究院

「羅森・吉田松陰与衛三畏—1854年美日交渉中の漢文媒介—」（招待講演） 中国文化中心連続講座
2008年11月11日 於香港城市大学

「王韜和中村正直—近代東亞の先覚者們與大英帝國—」（招待講演） 中国文化中心連続講座 2008年11
月12日 於香港城市大学

「重野安繹、西村天因以及内藤湖南—近代日本漢學家の中國觀的變遷—」（招待講演） 中国文化中心連
続講座 2008年11月13日 於香港城市大学

「漢学・蘭学から英学・独逸学へ—幕末明治期における文化交渉—」（招待講演） 第8回国際日本語教
育・日本研究シンポジウム「アジア・オセアニア地域における多文化共生社会と日本語教育・日本
研究」、2008年11月8日 香港大学

「近代日本の対華態度的變遷—關於所謂「監護人」意識的形成—」「全球視野中の近代中日關係研究」
国際研討会 2008年12月13日 於上海・華東師範大学

「内藤湖南と東方文化聯盟—昭和初期のアジア主義と「近代超克論」—」 日本研究中心特別講演会
2008年12月16日 於復旦大学

「十九世紀日本における外国学の変遷—漢学・蘭学から英学・独逸学へ—」 国際シンポジウム「跨越空
間の文化—十六至十九世紀中外文化的相遇与調適—」 2008年12月19日 於復旦大学

“Yoshida Shoin, Inoue Tetsujiro, and Naito Konan: Rediscovering Modern Japan’s Attitude Toward
America, Germany, and China through Inter-personal Relations” East Asian Studies Seminar
2009年2月4日 於Princeton University

“Pan-Asianism in Prewar Japan: The Case of Naito Konan and the Eastern Cultural League,” The
Edwin Reischauer Center for East Asian Studies 2009年2月11日 於Jones Hopkins
University SAIS

「訪美帰来話新知」 北京外国語大学 中国海外漢学研究中心特別講演会 2009年4月 於北京外国語大
学

「海外所蔵の一次史料による日本研究の体験」日本研究院特別講座 2009年4月 於南開大学

「関西大学図書館内藤文庫所蔵清末民国初期の名人書画」 東アジア文化交渉学会創立ならびに第1回年
次大会「多元文化交渉への新しいアプローチ」 2009年6月27日 於関西大学百周年記念会館

“Abraham Lincoln’s Impact on East Asia: A Preliminary Historical Review”（招待講演） リンカー
ン生誕200周年記念国際会議「Global Lincoln」 2009年7月4日 於Oxford University

「湖南が集めた中国人の書画」 郷土史研究会 2009年8月1日 於秋田県・鹿角市先人顕彰館

「リンカーンと東アジア」 人文社会高等研究院研究例会 2009年8月 於台湾大学

「リンカーンと東アジア」 近代史研究所特別講座 2009年9月2日 於台湾中央研究院

「リンカーンと東アジア」 アメリカ研究センター特別講座、2009年9月 於復旦大学

「新しいペリー像・松陰像へのアプローチ—米国側の史料から見た下田密航の真相—」 法政大学国際日

- 本学研究所第7回東アジア文化研究会 2009年10月6日 於法政大学
- 「懷徳堂と泊園 —大阪における漢学の源流—」 第49回泊園記念講座 2009年11月14日 於関西大学
- 「新しいペリー像・松陰像へのアプローチ—米国側の史料から見た下田密航の真相—」 史都萩を愛する会特別例会 2009年11月21日 於山口県・萩博物館
- 「Umeko Tsuda: A Pioneer Girl Student and Woman Educator in Meiji Japan」 International Symposium on “New Horizons in Islamic Area Studies: Identities, Coexistence and Globalization” 2009年12月12日 於マリオットホテル（カイロ・エジプト）
- 「追隨張謇看大阪博覧会—以1903年『癸卯東遊日記』為導遊圖」、国際シンポジウム「尋求太平洋地区的和諧与繁荣—從1910年南洋勸業会到2010年上海世博会」、於上海復旦大学、2010年3月12日
- 「東アジアを相対化する視座の必要性—学会「創立趣意書」への自省」、東アジア文化交渉学会第2回年次大会における円卓討論「東アジアに関する認知とイメージの変遷」、於台湾大学文学院、2010年5月7日
- 「有感於日本人の曲阜朝聖—兼及文化認同和「文化基因」說」、東アジア文化交渉学会第2回年次大会における会長論壇、2010年5月8日
- 「21世紀の日本の国づくり：「論語とそろばん」から学ぶもの」セミナー（渋沢栄一記念財団主催・みずほ総合研究所協賛）、パネリスト（陶徳民・船橋晴雄・渋澤健） 於東京・日本工業倶楽部、2010年6月30日
- 「港澳在近代東西方文化交渉中的樞紐作用—從衛三畏与羅森対一八五四年美日建交的貢獻說起」、第二回珠澳文化論壇、於マカオ大学、2010年8月16日
- 「林肯与東亜」、氷心誕生110周年記念会・氷心研究会学術講座、於福建長楽・氷心文学館、2010年8月23日
- 「徂徠の学問に対する懷徳堂朱子学者の反応」、朱子生誕800周年記念シンポジウム「朱子学と近世・近代の東アジア—テキストをふまえたアプローチ」、於関西大学百周年記念会館、2010年9月10日
- 「作為〈人学〉的東亜文化交渉学—基于史学立場的一個倡言」、東亜文化交渉学方法論研究会、於浙江工商大学日本文化研究所、2010年9月27日
- 「大正後期の「漢文直讀」論をめぐる学問と政治—文化交渉学の視点による考察」、日本中国学会第62回大会、於広島大学、2010年10月10日
- 「在徳川儒学界引起風波的琉球版和清版的書籍—以〈二論〉及〈二辯〉為例」、関西大学文化交渉学教育研究拠点第4回国際シンポジウム「出版印刷と知識の環流—十六世紀以後の東アジア」、於関西大学、2010年10月31日
- 「大正後期的〈漢文直讀〉論的是非問題—關於青木・倉石以及塩谷・内藤的主張及立場」、香港中文大学日本研究学系成立二十週年紀念国際学術討論會「從近現代日中文化交流看現代性及身分認同的探索」、於香港中文大学、2010年11月13日
- 「林肯与東亜—新渡戸稲造、孫文及其他」、関西大学中国文学会第4回大会講演、2010年12月4日
- 「犬養毅の中国観とその思想的背景—1929年孫文移靈祭参列記を手掛かりに—」 孫文研究会冬季研究例会 2011年1月10日 於神戸・中華会館

「近代東アジアにおけるリンカーンの認知と受容の諸相—新渡戸稲造、孫文などをめぐって—」（招待講演） 2011年2月25日 於横浜 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター

「犬養毅的中國觀及其思想背景—以其出席1929年孫中山奉安大典和參拜曲阜孔廟為線索—」 近代史研究所特別講座 2011年3月9日 於台湾・中央研究院

「『東亞文化交渉學』的關鍵詞探索—全球化時代文化研究的新視野與新視角—」 第二屆東亞文化交渉學方法論研討會 2011年3月12日 於台湾大学人文社会高等研究院

「内藤湖南のシノワズリと収蔵哲学—『澄懷堂書画目錄序』を手掛かりに—」 澄懷堂2011年春季特別展講演会 2011年3月27日 於三重県四日市市

Panel on “China’s 1911 Revolution: Winners, Losers, and Japanese Supporters” The Fifteenth Asian Studies Conference Japan (ASCJ) 2011年6月25日 於國際基督教大学

Panel on “The Middle Kingdom in the Eyes of the “Other”: A Diplomat’s Observations, and Representations in Pictures, Literature, and Theory from the West and Japan” (司会) The World History Association Annual Meeting 2011年7月8日 於北京・首都師範大学

「師從不忘自重—辛亥前後の熊希齡—」 於中國歐美同學會主辦國際研討會「留學人員與辛亥革命」2011年8月26日 於北京・中国職工之家

「辛亥革命に対する日米の中国通の異なった展望—内藤湖南とJ.S. トムソンの比較—」 清華大学日本研究センター主催セミナー「近代中国の社会変動と日本」2011年9月8日 於北京・香山飯店

「内藤湖南の“支那”論与民国初期日美在华競争—从多边关系入手解码历史文本—」 中国社会科学院・湖北省人民政府共催「辛亥革命与百年中国暨纪念辛亥革命一百周年」国际学术研讨会 2011年10月13日 於武漢・東湖賓館

「大正期中国書画蒐集の指南役としての内藤湖南—その見識と実践」 関西中国書画コレクション展開催記念国際シンポジウム「関西中国書画コレクションの過去と未来—収集から100年、その意義を考える—」2011年10月22日 於京都泉屋博古館

“ICIS’s Efforts for Promoting Transnational Approaches to Cultural Networks in East Asia” ICIS 第五回国際シンポジウム「東アジア文化交渉学の新しい展望」関西大学文化交渉学教育研究拠点 2011年11月11日 於関西大学

「内藤湖南與清代學術」（招待講演） 中国文化中心連続講座、2012年2月2日 於香港城市大学

「内藤湖南与清代藝術」（招待講演） 中国文化中心連続講座、2012年2月3日 於香港城市大学

「内藤湖南與清朝遺老」（招待講演） 中国文化中心連続講座、2012年2月4日 於香港城市大学

「作为“人学”的东亚文化交渉学」 歴史系特別講座 2012年2月23日 於杭州師範大学

「东亚文化研究の大視野与新視角」 日本语言文化学院特別講座 2012年2月21日 於浙江工商大学

“Abraham Lincoln’s Reception and Destiny in East Asia” Bridgewater State University Asian Studies Program 2012年4月11日 於Bridgewater State University

“Cultural Interaction Studies in East Asia” Faculty Symposium on Cultural Interaction and Globalization in East Asia 2012年4月26日 於Bridgewater State University

“Cultural Interaction Studies in East Asia” 現代東アジア研究センター特別セミナー 2012年5月10

日 於ソウル・韓国学中央研究院

「内藤湖南の政治思想―「近代」への抱擁と批判―」 日本研究センター特別講演会 2012年5月18日
於高麗大学

「林肯與東亞」 人文社会研究センター講座 2012年5月25日 於台湾・清華大学

「日本大学通識教育的現状」(招待講演) 2012年台湾通識教育国際検討会暨第二十八届全国通識教育教師研習会 2012年5月30日 於高雄市圓山飯店

“Abraham Lincoln and East Asia” 国際学術研討会「東亞研究の新視野」2012年6月2日 於台湾大学人文社会高等研究院

「文化交流史之日本篇」 歴史系文化交流史平台講演 2012年6月15日 於台湾大学文学院

「关于文化基因和多元文化认同」 人文社会高等研究院研究例会 2012年6月18日 於台湾大学

「内藤湖南の東洋史学及其西学背景」 第四回国際漢学会議 2012年6月21日 於台湾中央研究院

「林肯与东亚」 历史系学術講座 2012年6月27日 於北京大学

「全球化时代东亚文化研究的大视野与新视角」 近代史研究所学術講座 2012年7月17日 於中国社会科学院

「内藤湖南の東洋史学及其西学背景」(招待講演) 国際漢学家研修基地講座第五十五講 2012年9月3日 於北京大学

「内藤湖南の外交策論及其満洲情结」(招待講演) 国際漢学家研修基地講座第五十六講 2012年9月7日 於北京大学

「美国的日本研究―从我熟识的几位大家谈起―」 2012年9月4日 於中国社会科学院日本史研究所

「近代日本从脱亚入欧到联亚抗欧的历史轨迹―兼谈发掘史料和构筑史论的方法和乐趣―」 北京日本学研究中心講座 2012年9月4日

「近代日本从脱亚入欧到联亚抗欧的历史轨迹―兼谈发掘史料和构筑史论的方法和乐趣―」 清华大学外文系講座 2012年9月6日

「文化互動研究的新表象与新視野―関西大学倡導文化交渉学の嘗試―」 外国語学院「東亜文学及文化交流」国際学術研討会 2012年9月8日 於南開大学

「内藤湖南の東洋史学及其西学背景」 国学院章太炎講壇第三講 2012年9月11日 於杭州師範大学

「从“老子化胡”到相習相敬―从衛三畏(1812-1884)看东西文明對話的經驗和愿景―」 第二屆嵩山論壇「从世界轴心文明到对话文明」北京大学高等人文研究院・河南省登封市政府共催 2012年9月21日

「从教化到对话：从卫三畏设计的两件自画像看其对华姿态的转化」 北京外国語大学海外漢学研究センター・関西大学亚洲文化研究中心共催国際学術研討会「十九世纪以来的美国与东亚关系―記念卫三畏誕生200周年―」 2012年12月25日 於北京外国語大学

「知己知彼乃是沟通中西的不二法門」 国際高峰對話暨学術論壇「思想与方法：全球化時代中西對話的可能」 2012年12月17日 於北京師範大学文学院

「我的日本認識和日本研究―兼及在大陸、美國和日本的人生感悟―」 日本研究專家講座 2012年12月26日 台湾・東海大学

「近代東亞史上的蘭亭會—以內藤湖南和大正癸丑京都蘭亭會為焦點—」（招待講演） 歷史語言研究所講演會 2012年12月27日 於台灣中央研究院

「從非日常性現象切入和把握歷史的脈絡—我的近代日本對外關係史探索心得—」 近代史研究所特別講座 2012年12月28日 於台灣中央研究院

「大正二年における内藤湖南と藤澤南岳の王右軍論の含意を考える」 大正癸丑蘭亭會百周年記念円卓會議 2013年4月13日 於關西大學百周年記念會館

「大正二年における内藤湖南と藤澤南岳の王右軍論について」 泊園記念會特別講演會 2013年4月19日 於關西大學大阪都市遺産研究センター

「1913年癸丑蘭亭會的四重奏—東京・北京・杭州・京都」 東アジア文化交渉學會第五回年次大會「特別報告」 2013年5月10日 於香港城市大學中國文化中心

「内藤湖南と大正癸丑の京都蘭亭會」 澄懷堂美術館特別講演會 2013年5月26日 於四日市

「絲路東端書香濃—日本關西大學的中國文學學介紹—」 2013年中文數字出版與數字圖書館國際學術研討會（CDPDL） 2013年7月12日 於中國甘肅・敦煌研究院

「近代日本人的孔子信仰—兼及文化基因和多元文化認同的問題—」 歷史研究所公開講座 2013年9月5日 於曲阜師範大學

「王羲之的仆人 熊希齡的顧問—從1913年内藤湖南的自我定位看其中國觀的特征—」 關西大學・南開大學共催國際シンポジウム「内藤湖南と中國」 2013年9月8日 於中國南開大學日本研究院

「日本關西大學與西泠印社合辦的1913年蘭亭會一百周年紀念活動」 西泠印社秋季雅集 2013年10月24日 於中國杭州・西泠印社

「日本關西大學與西泠印社合辦的1913年蘭亭會一百周年紀念活動」 美術學院「杉村邦彦先生一行特別講演會」 2013年10月25日 於中國・杭州師範大學

「王羲之的仆人 熊希齡的顧問—從1913年内藤湖南的自我定位看其中國觀的特征—」 日本語言文化學院特別講座 2013年10月25日 於中國杭州・浙江工商大學

「王羲之的仆人 熊希齡的顧問—1913年内藤湖南對中國的文化認同與政治諫言—」（招待講演）「華大論壇」 2013年11月4日 於中國武漢・華中師範大學

「王羲之的仆人 熊希齡的顧問—1913年内藤湖南對中國的文化認同與政治諫言—」 文史研究院「文史講堂」 2013年11月5日 於中國上海・復旦大學

「文化交渉の視点から見た内藤湖南と藤澤南岳の王右軍論」 書論研究會・泰山書道院共催講演會「大正癸丑京都蘭亭會百周年記念行事報告會」 2013年12月23日 於大阪府立難波市民學習センター

「西式法制的衝擊與明治政府的對策—1890年《教育敕語》出台的前前後後—」 日本研究院「日本學講座」 2013年12月25日 於中國天津・南開大學

「日本史上孔子信仰的幾個實例—兼及文化基因和多元文化認同的問題—」（招待講演） 儒學高等研究院特別講座 2013年12月26日 於中國濟南・山東大學

「西式法制的衝擊與明治政府的對策—1890年《教育敕語》出台的前前後後—」（招待講演） 歷史研究所「薊門談史」講座第六回 2013年12月27日 於北京・中國政法大學

「西式法制的衝擊與明治政府的對策—1890年《教育敕語》出台的前前後後—」 歷史學部特別講演會

2014年5月5日 於上海大学

「内藤湖南晩年の東方回帰及其含意—从《新支那論》到東方文化聯盟—」 歴史研究所學術講座 2014年5月6日 於上海社会科学院

「内藤湖南与京都学派」 思勉人文高等研究院「思勉人文講座第197講」（招待講演） 2014年5月6日 於中国上海・華東師範大学

「内藤湖南晩年の東方回帰及其含意—从《新支那論》到東方文化聯盟—」 国际与公共事务学院「治講壇」 2014年5月7日 於上海交通大学

「西式法制的衝擊与明治政府的对策—1890年《教育敕語》出台的前前後後—」 日本研究センター特別講座 2014年5月7日 於中国上海・復旦大学

「明治期の水戸イデオロギー—栗田寛の「教育勅語」解釈と『大日本史・神祇誌』編纂を例に—」 東アジア文化交渉学会第六回年次大会 2014年5月9日 於中国上海・復旦大学

「百年前涩泽荣一与张謇的互望以及百年后涩泽雅英与张绪武的交往」 欢迎东亚文化交渉学会澁澤雅英代表團一行記念講演会 2014年5月10日 於中国・曲阜师范大学

「从1903年张謇访日看清末儒商的心路历程」 北京大学高等人文研究院・世界伦理中心主催「儒商論域 2014—儒商典范与财富」 2014年5月12日 於北京大学

「日記・手紙で甦る個人と時代—アーネスト・サトウ研究ブームに思うこと—」 東西學術研究所第3回研究例会 2014年7月18日 於関西大学

「内藤湖南晩年の思想—東方文化聯盟と日滿文化協會をめぐる—」（特別講演） 第36回書論研究会大会「内藤湖南逝去八十周年記念」 2014年8月3日 於大阪市立難波市民学習センター

「重野安繹における外交・漢文と国史—大阪大学懷徳堂文庫西村天囚旧蔵写本三種の研究—」 関西大学アジア文化研究センター研究例会 2014年10月3日 於関西大学

「百年後から見た栄一の民国訪問—田彤編『1914澁澤榮一中國行』について—」 澁澤榮一記念財団研究部主催「シンポジウム 長江流域の経済社会—過去・現在・未来」 2014年10月10日 於東京・渋沢史料館

「文化交渉学の視点から見た内藤湖南の中国思想論と文化論の契機と軌跡」 日本思想史学会2014年度大会・パネルセッション「京都支那学派の思想論と文明論—内在文脈と比較視野への追究—」 2014年10月25日 於愛知学院大学

「勁敵研究は深入観察歴史「神經中樞」的内視鏡—聚焦於重野安繹 vs 川田剛 & 栗田寛、羅振玉 vs 鄭孝胥、内藤湖南 vs 服部宇之吉等事例」 蔣介石研究群・「近代中日關係の多重面向（1850-1949）」主題計畫共催講座 2014年11月28日 於台湾中央研究院近代史研究所。

“Kansai University ICIS’ Initiative in Running the *Society for Cultural Interaction in East Asia*: Some Ideas and Experiences in Constructing a Global Network” “Thinking from East Asia: University-Based Institute for Advanced Study Directors Conference” 2014年11月28日 於台湾大学人文社会高等研究院

「近世近代的日本漢學及其特征」 日本研究中心特別講演会 2014年12月25日 於青島・中国海洋大学
“*Kanbun* (Traditional Chinese) as a Negotiating Language in the Opening of Japan” Fudan-UC

Center for Contemporary China Seminar 2015年2月27日 於 University of California at San Diego

“The 1913 *Lanting Hui* in Kyoto and Its Centennial at Kansai University” Confucian Institute Special Seminar 2015年3月2日 於 Rutgers University

“Abraham Lincoln’s Reception in East Asia” History Department Seminar 2015年3月2日 於 Rutgers University

“Some Reflections on My Research about the 1854 Shōin-Perry Encounter” イェール大学東アジア研究所・東京大学史料編纂所共催 “Treasures from Japan: An International Conference on Pre-Modern Books and Manuscripts in the Yale University Library” 2015年3月5日 於 Yale University

“A Stowaway’s Dilemma——Yoshida Shoin (1830-1859) on Perry’s Flagship and in Shimoda Jail” The Harvard Club of Japan Evening Talk 2015年3月17日 於 Roppongi Hills Club

“Some Reflections on My Research about the 1854 Shōin-Perry Encounter” ICU Conference on “The Presence and Future of the Humanity in the Cosmos” 2015年3月18日 国際基督教大学

「三島中洲における漢洋折衷のバランス感覚—松陰・安繹・榮一との比較—」(招待講演) 資料展示室講演会(企画展「三島中洲と近代 其三」) 2015年5月30日 於二松学舎大学

「鯨油時代の砲艦外交と人道主義—下田密航をめぐる松陰の懇願とペリーの介入」(招待講演) 人文学部異文化交流研究施設第29回講演会 2015年6月9日 於山口大学

「洞察史料 點石成金—關於1854年黑船訪日期間人道主義訴求の互動—」 2015年中文數字出版與數字圖書館國際研討會(CDPDL) 2015年6月17日 於中国西安・西北工業大学

「幕末明治の「アメリカ」受容」 日本思想史学会2015年度大会・パネルセッション(担当「幕末明治のリンカーン受容」) 2015年10月18日 於早稲田大学

「羅森、衛三畏與吉田松陰及平山謙二郎——19世紀中葉の港澳與日本開國」(招待講演) 中文及歷史系「思考亞洲一體化」シリーズ講座 2015年11月30日 香港城市大学

「藤澤南岳と大正癸丑の蘭亭会」 大阪府公開講座フェスタ2015 2015年11月11日 於大阪府新別館南館大研修室

「承先賢之風雅 續藝文之系譜—2013年関西大学京都蘭亭会百年紀念行事紀實—」 饒宗頤教授百歲華誕國際學術研討会 2015年12月 於香港大学

“Finding Japan-related Archives in Springfield: A Journey to the Mecca of Lincoln Studies” 2016年1月26日 関西大学アジア文化研究センター。

「日本近世の教育」(基調報告) 第4回教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム 2016年2月21日 於岡山県青少年教育センター閑谷学校

連続セミナー「だから“日中韓”—絆の再発見」第7回「聖徳太子の平和外交に学ぶ」共同スピーカー: 中西進・陶徳民 2016年3月10日 於東京・国際文化会館

「アーネスト・サトウがみた幕末日本」(講演) 京都霊山歴史館第七三回維新土曜トーク 2016年4月2日 京都霊山歴史館

- 「從中日近世學術尋求〈與西歐神理相似者〉—內藤湖南的章學誠研究對張爾田和胡適等的影響」(研究発表) 2016年8月24日 台湾大学人文社会高等研究院
- 「從中日近世學術尋求〈與西歐神理相似者〉—內藤湖南的章學誠研究對張爾田和胡適等的影響」(研究発表) 2016年8月29日 台湾中央研究院歷史言語研究所
- 「內藤湖南的章學誠研究のインパクト—胡適・姚名達・張爾田の書簡と贈呈本に関する考察」(研究発表) 2016年9月9日 東西學術研究所第九回研究例会
- 「『日本』物語の語り方—アイビーリーグ校とシカゴ大の事例をめぐって」 2016年11月12日 (研究発表) 東西學術研究所第12回研究例会「世界の日本研究—中国と欧米の場合」
- 「近代日中文化交渉史逸話—泊園・内藤・増田三文庫の蔵書に触れて—」(講演) 関西大学中国文学会第10回大会 2016年12月16日 関西大学
- 「日本の近代中國學的發端——漢學的革新與同時代文化交渉」(研究発表) 2017年3月14日 中央研究院近代史研究所蔣介石研究群學術講演會
- 「私の新刊『日本における近代中国学の始まり—漢学の革新と同時代文化交渉』について」(研究発表) 2017年3月15日 國立台湾大学日本研究中心第三十次學術講論會
- 「明治末年の三教会同与归一協会—」(講演) 2017年5月9日 南开大学日本研究院
- 「内藤湖南与胡适及姚名达—围绕章学诚评价问题的互动—」(講演) 跨文化系列讲座第79讲 2017年5月11日 北京语言文化大学
- 「『土着の漢学』から『近代中国学』への脱皮」(研究発表) 東アジア文化交渉学会第9回年次大会 2017年5月14日 北京外国语大学
- 「林肯与卫三畏—兼谈《卫三畏在东亚—美国日本所藏资料选编》—」(講演) 北京外国语大学国际中国文化研究院“一个亚洲”2017系列讲座—16世纪以来的文化交流和“一个亚洲共同体”的形成— 第三讲 2017年5月15日 北京外国语大学
- 「钱泳编《海外新书》在幕末大阪激起的反响—从藤泽东咳的一喜一忧看当时儒学各派的处境—」(講演) 北京大学信息管理系学术讲座 2017年5月15日 北京大学
- 「钱泳编『海外新书』在东瀛激起的反响—藤泽东咳的忧喜参半所折射的社会问题」(研究発表) 第二届南京大学域外汉籍国际学术研讨会 2017年7月1日 南京大学文学院
- 「内藤湖南：政治与汉学(1866-1934)」(対談) Joshua A. Fogel、陶徳民 第二届南京大学域外汉籍研究国际学术研讨会系列講座之三 2017年7月3日 南京大学文学院
- 「关西大学图书馆所藏汉学相关文库及其研究」(研究発表) 2017年数字出版与数字图书馆融合发展国际研讨会 2017年8月18日 中国・太原
- 「星野恒選編・王韜評点『明清八家文』考—『方望溪文抄』を中心として—」(講演) 第三十九回書論研究会大会 2017年8月27日 三重県四日市市
- 「谈谈我的新作『卫三畏在东亚—美国日本所藏资料选编』」(講演) 復旦大学美国研究中心 2017年10月17日 復旦大学
- 「近代日中汉学互动史概観」(講演) 北京外国语大学国际中国文化研究院主办“一个亚洲”2017年系列讲座第四讲 2017年10月20日 北京外国語大学

- 「王国维与内藤湖南、西村天囚の交往及其日本文化观—关于1913年在京都所作的『蘭亭會詩』和『譯本琵琶記序』」(研究発表) 清華大学国学院主催「纪念王国维诞辰140周年国际学术研讨会」 2017年10月22日 清华大学
- 「桐城派文論對近代日本漢學家的影響」(講演) 香港城市大學中國文化系列講座 2017年12月5日 香港城市大學中國文化中心
- 「日本知識人對民國初期新文化運動的反應」(講演) 香港城市大學中國文化系列講座 2017年12月7日 香港城市大學中國文化中心
- 「内藤湖南の章學誠研究對胡適、姚明達的刺激以及互動」(講演) 香港城市大學中國文化系列講座 2017年12月8日 香港城市大學中國文化中心
- 「近代日中漢學交渉史概観—以王韜評點《明清八家文》及内藤湖南評介《章學誠遺書》為例—」(講演) 台灣師範大學東亞系 2018年3月1日 台灣師範大學
- 「慕維廉《地理全志》在幕末日本的創造性改編—關於岩瀬忠震所制《瀛寰表》的意義之探討—」(講演) 中央研究院近史所 2018年3月2日 台灣
- 「ジョン・デューイの見た帰一協会」 學術シンポジウム「グローバル時代の『普遍』をめざして—『帰一協会』の挑戦と渋沢栄一」 2018年3月6日 東京國際文化会館
- “Introduction of Kansai University Open Research Center for Asian Studies” (内田慶市教授との共同発表) ハーバード大学主催「中國歷史研究的網絡基礎設施會議」(漢學數位基礎建設研討會) 2018年3月16日 ハーバード大学上海センター
- 「『外』から見た激動の幕末明治時代—史海拾貝の経験と教訓」(記念講演) 第33回待兼山史友会総会 2018年4月14日 大阪大学豊中キャンパス
- 「近代東西和中日文化交流中の三種珍籍及其影響:《地理全志》,《明清八家文》和《鈔本章學誠遺書》」 HKUST Library Book Talk 2018年5月8日 香港科技大学圖書館
- 「林肯与衛三畏—兼及拙編《衛三畏在東亞—美国日本所藏資料選編》—」 香港中文大學翻譯系 2018年5月9日
- 「關於内藤文庫所藏鈔本《章氏遺書》來歷之考証」(講演) 香港大學饒宗頤學術館 2018年5月10日
- 「『苦肉の策』としての『教育勅語』—明治国家成立期のイデオロギー構築にかかわった人々の思想と行動」東西學術研究所研究例会(近世近代日中文化交渉「日中移動伝播」研究班) 2018年7月4日
- 「明治維新に対する「勝者」と「敗者」の功績—拙編『開国初期の海外事情探索者たち』の編集所感から—」東西學術研究所研究例会(近世近代日中文化交渉「日中移動伝播」研究班) 2018年10月29日
- 「重野安繹と初期の静嘉堂—岩崎弥之助の見識に触れて」(特別講演)、東洋文庫特別講演会、2019年6月30日
- 「近世近代儒教和基督教交渉の歴史經驗的反思—陶著『西教東漸と中日事情』の成書背景之介紹」、中央研究院文哲研究所にて、2019年7月19日
- 「關於論語算盤說的由來及其今日之意義」、東吳大學人文社會學院東亞研究中心にて、2019年7月22日
- 「近代史上的大阪儒學—以懷德堂朱子学与泊園徂徠学為例」(基調講演)、兩岸四地朱子学研究シンポジウム、台灣大學にて、2019年7月23日

- 「澠澤榮一與儒商精神—關於論語算盤說的由來及其影響」(講演)、文徳書院・儒商論壇にて、2019年7月24日
- 「湖南晩年の比較文明論とK・ラムプレヒト『近代歴史学』」、東西学術研究所第5回研究例会「近代日中の学術と藝術への新しいアプローチ—古今・東西の文化交渉と融合の視点から」にて、2019年7月29日
- 「讃岐の雨山とその尊王論及び書学—2105年年初狩野直禎先生ご自宅への訪問にも触れて」(講演)『書論』第45号「特集・長尾雨山」合評会並びに二王学構築研究会、大阪市難波市民学習センター講堂にて、2019年12月21日
- 「内藤湖南と羅振玉・鄭孝胥との微妙な関係—1917年と1933年の中国訪問をめぐって」東西学術研究所第13回研究例会「近現代中国・日本・西洋の相互理解と文化交渉」にて、2020年1月21日
- J. A. フォーゲル氏講演「How Much Does an Understanding of History Help? Naitō Konan's Reading of "Communism" in China」(内藤湖南の歴史知識はどこまでその中国「共産主義」への理解に役立ったのか)に対するコメント 内藤湖南科研プロジェクト第一回セミナー(公益財団法人東洋文庫・超域アジア研究現代中国研究班、関西大学東西学術研究所と共催)、2020年7月19日
- 「Uchigasaki Sakusaburo (1877-1947) as a Biographer of Abraham Lincoln」、東アジア文化交渉学会第12回年次大会(中国・鄭州大学主催、Online開催)、2020年11月8日
- 「20世紀前期中国の「文化巨人」羅振玉について—「趣旨説明」」、関西大学東西学術研究所第七回研究例会「羅振玉の学術と藝術への新しいアプローチ」、2021年1月15日。
- 「伯希和1935年初夏の遠東行程是如何定下的?—参加内藤湖南一周年忌辰也是重要因素—」、東アジア文化交渉学会第13回国際学術大会のパネル「東西往来与羅王之学」における発表、2021年5月9日。
- 「『隨丁道護書啓法寺碑』出版前後の羅振玉與内藤湖南—書簡と題跋所見民國初期和大正日本的「傳古」精神及技術」、関西中国書画コレクション研究会国際シンポジウム「関西中国書画の空間」にて、2021年10月16日。
- 「開国期外交交渉のなかの尊厳問題—米国外交使節に対する日本と中国の拝礼強要事例について—」、関西大学東西学術研究所創立70周年記念シンポジウム、2021年10月31日
- 「内藤湖南の還暦・葬儀関連行事から見るその社会的影響」、関西大学東西学術研究所第二回研究例会・国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎—近代東洋学の射程」にて、2021年11月6日
- 「藤澤南岳と内藤湖南—文化の力を謳歌した近代関西の偉人—」(最終講義)、於岩崎記念館 2021年12月10日

〔コメント・司会〕

- 「川尻文彦報告「万国公法と晩清変法」について」日本現代中国学会関西大会 1999年7月 於関西大学
- 「田中仁報告「現代中国における歴史意識の変容」について」現代中国学会関西支部夏季研究集会 2002年7月 於関西大学
- 第24回関西大学法学研究所現代法セミナー「地球村—21世紀における国際組織の役割—」司会(講演者:入江昭・ハーバード大学教授) 2002年7月 於関西大学

「中村春作報告「課題としての訓読」について」重点領域研究「東アジア海域」・大阪市立大学COE 共催
国際シンポジウム「文献資料学の新たな可能性」 2006年1月 於大阪市立大学

「片岡龍報告「日本の儀礼研究—近世の学問と礼—」について」 アジア文化交流研究センター主催国際
学術フォーラム「東アジアの文化と儀礼」 2006年7月 於関西大学

「フランシス・フクヤマ報告“State-Building and Global Governance”について」 関西大学3研究所共
催研究セミナー 2007年7月 於関西大学

関西大学3研究所合同シンポジウム・第2回復旦大学・関西大学経済フォーラム「東アジアにおける持
続可能な新たな社会をめざして」について 共同 2011年12月 於関西大学

東アジア文化交渉学会第4回年次大会のパネル「内藤湖南研究の現在」司会 2012年5月 於高麗大
学

「20世紀中国における国家と民族の問題—歴史の回顧と展望—」（報告者：西村成雄・放送大学教授；王
柯・神戸大学教授）について 2013年1月 東西学術研究所研究例会（個人・民族・国家に関する
多角的研究）

東西学術研究所講演会「山本竟山とその書学」司会 2014年11月 於関西大学

東アジア文化交渉学会第7回年次大会のパネル「東アジアにおける文化交渉と自己認識」司会 2015年5
月 於神奈川県開成町

東アジア文化交渉学会第8回年次大会のパネル「東アジアにおける近代史観の形成と展開」司会 2016
年5月8日 関西大学

国際シンポジウム「儒学—蜀学と文献学—」における白井順氏発表「懷徳堂教授吉田鋭雄與蜀人査體仁
《學庸俗話》」司会 2016年12月11日 大阪大学大学院文学研究科

鈴置拓也報告「二松学舎大学所蔵資料井上哲次郎「支那哲学史」の特徴について—引用書を中心として」
日本中国学会第73回大会 2021年10月10日 オンライン開催（愛知大学）

〔通訳〕

章開沅教授「中国教会大学史研究の現状」東西学術研究所特別研究会 1997年12月17日

葉維廉教授「道家的美学とアメリカの現代詩」東西学術研究所特別講演会 1998年4月15日

フランシス・ウッド博士「マルコ・ポーロ『東方見聞録』の虚と実」東西学術研究所特別講演会 1999
年4月7日

杜維明教授「国連の文明対話推進チーム公式レポート」第25回関西大学法学研究所現代法セミナー「文
明の衝突から対話へ—アジアの宗教から考える—」2002年11月9日（当日、杜教授が欠席のため、
代読）

〔外部資金の獲得状況〕

（科学研究費補助金）

平成14-15年度 基盤研究（C）「明治前期日本女性史とアメリカ—津田梅子とアリス・ベーコン—」（代
表 藪田貫）研究分担者

- 平成16-18年度 基盤研究 (C)「日本の開国とアメリカ人宣教師—S・W・ウィリアムズと初期日米関係—」研究代表者
- 平成16-19年度 基盤研究 (A)「中国文化の伝播、変容と還流—中国沿海地域と日本—」(代表 藤田高夫) 研究分担者
- 平成17-21年度 特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成—寧波を焦点とする学際的創生—」における「歴史書編纂と王権理論に見る東アジア3国の比較」研究班(領域代表 小島毅) 研究分担者
- 平成21-23年度 基盤研究 (A)「東アジアにおける伝統教養の形成と展開に関する学際的研究—書院・私塾教育を中心に—」(代表 吾妻重二) 研究分担者
- 平成23-25年度 基盤研究 (B)「内藤湖南のアジア観の形成と近代日中学術交流」(代表 井上克人) 研究分担者
- 平成27-29年度 基盤研究 (C)「近代日本におけるリンカーン受容の研究—新聞雑誌・公文書・伝記・教科書などを素材に—」研究代表者
- 平成30年度-令和3年度 基盤研究 (B)「泊園書院を中心とする日本漢学の研究とアーカイブ構築—」(代表 吾妻重二) 研究分担者
- 令和2-5年度 基盤研究 (B)「大正期日本の中国研究と第一次世界大戦前後の世界—内藤文庫所蔵資料を中心に—」研究代表者
- 令和3-6年度 基盤研究 (B)「日本近代人文学の再構築と漢学の伝統—西村天囚関係新資料の調査研究を中心として—」(代表 竹田健二) 研究分担者